

ムジークフェストなら 2021年度第3回実行委員会(12月22日)概要

- 日 時:令和3年 12月 22日(水) 15:00~16:30
- 場 所:奈良県文化会館 多目的室
- 出席者:別紙名簿のとおり

●概要

- ・開会に先立ち、荒井会長から挨拶。
- ・事務局より、

出席委員を紹介。実行委員会会則に基づき、代理出席も含めた出席委員数が、委員の現在の数の過半数であることから、本日の実行委員会は、議事の審議に必要な定足数を満たしており、有効に成立していることを報告。

- ・配付資料の確認後、荒井会長を議長に選出。
- ・議長の司会進行に基づき、事務局から

【議題】議案①ムジークフェストなら2022事業計画(案)

議案②ムジークフェストなら2022予算(案)

報告 ムジークフェストなら2021決算見込

を説明。委員による意見交換・質疑応答後、議案①②について原案どおり採決し、承認を得た。

【議事録】

1. 冒頭会長(知事)挨拶

- ・ ムジークフェストならを10年続けてこれたのは、周りの方から予想しなかった力をもらった結果であると感じている。ショパンコンクールで第2位になられた反田恭平氏が奈良に縁が出来たのも、ムジークフェストならを続けてきたので、周りの方が当音楽祭に関心を持っていたことがきっかけであるように思う。
- ・ 皆様のお力添えで、来年も無事に開催できることを期待し、本日の実行委員会についても何卒よろしくお願ひ申し上げます。

2. 事務局より議案①②及び報告案件を説明

3. 委員質疑等

【議長(荒井知事)】

- ・ 2月に最終的な公演内容の報告があるが、出演者等の調整中の内容について、このような方向で進めてよいか確認させていただきたい。議案①②と合わせて意見等あればお願いしたい。

【委員】

- ・ 交通広告の駅貼りポスターや車内広告など、協力できる部分は積極的に協力させていただく所存。
- ・ 新たな取組として YouTube 広告というのがあったが、TVer というテレビの見逃し配信媒体を活用した広告についても検討したのか事務局に伺いたい。TVer は幅広い層の多くの方が見られているという話を聞いたことがある。

【事務局】

- ・ 幅広い皆様の目に触れるような広報展開となるよう、TVer を活用した広告を含めて今後検討したい。

【議長】

- ・ 社寺公演を家でも見ることができるように、奈良テレビの深夜枠などで流せないか。YouTube などのオンラインを含め、配信計画を作成してほしい。

【委員】

- ・ 音楽と社寺等の文化財を関連付けた旅行商品は、アンケートから満足度が高い結果が出ている。26社寺で展開できればなお効果的かと考える。交通事業者として、またJRで40万部発行するタブロイド紙も含め、できることをやっていきたい。

【委員】

- ・ 奈良出身の奏者も多いジャパン・ナショナル・オーケストラの公演は大変興味深い。今回は反田恭平氏の出演は難しいようだが、出ていただければ非常に大きな効果がある方だと思うので、これからも期待している。また、雨天時の対応等について更に深い議論をお願いする。

【事務局】

- ・ 反田氏は海外ツアーの時期であり、ジャパン・ナショナル・オーケストラのメンバーから調整することとなった。
- ・ 雨天時の対応については、例年、屋外で開催していたムジーク・プラッツが、コンベンションセンターでの屋内開催となる。社寺公演については屋外開催もあるため、個々に調整したい。

【委員】

- ・ 旅行や音楽を扱う事業者が色々なホームページを運営しているので、それらにムジーク公式HPにつながるバナーを貼ってみてはどうか。沖縄DAY企画については、何かお役に立てるかもしれないので、また連携していきたい。

【委員】

- ・ 各種コンサートとイベントが機能的に繋がり、素晴らしいイベントに出来上がってきていると感
る。弊社としてもイベントの盛り上げに貢献していきたい。
- ・ 各種 SNS による若者向け広報について効果測定できるようにしておく、その分析をもとにタ
ーゲットに応じた効果的な広報を打て、次回の音楽祭が更に盛り上がるのではないかな。

【議長】

- ・ ムジークフェストならば、大きな予算を投じて県外からの誘客を目指すのではなく、限られた
予算の中で地元楽しんでいただき、県外から来た方には、観光や旅行で訪れてみたら音
楽祭がやっていて得をしたというようなイメージで開催している。ブランドでの集客にまで至っ
ていないのが現状であり、都会から来てもらうには、他とは違う味を出していく必要がある。当
音楽祭は、社寺でのコンサートが大きな魅力のひとつであり、社寺への参拝や行事参加、そ
の周辺地域への興味喚起に繋がれば良いと考える。

【委員】

- ・ 若い世代の目に届くような広報を行えば、会場に足を運ぶ若者が増えるのではないかな。是非、
SNS を活用した発信を続けてほしい。

【委員】

- ・ ムジークフェストは、音楽に興味のある人が本物に触れる良い機会だと感じる。各宿泊施設
のホームページにバナーを貼り、広報に努めたいと考える。

【委員】

- ・ 当財団では奈良への移住定住促進施策として、奈良の僧侶と都市部の女性の交流事業を企
画しているので、そういった事業に絡めて、社寺や、東京の若い方々にもムジークフェストを
SNS で発信していただこうと考えている。

【委員】

- ・ 次回の委員会にて、配信計画をお示しする。ムジークに来てみたら、他にこういうこともあつて
楽しいというような取り組みを行い、社寺や周辺での催しも併せて紹介できるような仕組みも
考えたい。

【委員】

- ・ 反田恭平氏はMBSラジオに番組を持っているが、コンクールで賞を取られたこともあり、手が
届かない存在になりつつあるように感じる。今回の出演が難しければ、海外からの中継や動
画等による出演を模索できないかな。

- ・ 社寺コンサートについては、学生インフルエンサーにSNSでの宣伝をお願いしたり、テレビで各コンサートを数回に渡って放送し、集約版をYouTubeに上げたりするなどのアイデアもある。費用のかかる内容もあるが協力したい。
- ・ 「ムジークフェストなら御朱印帳」を作成し、社寺周りのきっかけを作るのはどうか。

【委員】

- ・ 広報において点ではなく面で受け取ってもらえる工夫が必要であり、奈良の社寺の関係者はツイッター等の発信力も高いので、共通ハッシュタグによる発信や、反田恭平氏の一言メッセージが入った短いPR動画を作成し拡散に協力いただければ、効果的な広報ができると考える。
- ・ 10代、20代はFacebookやTwitterよりも、LINEやInstagramやTikTokを利用しているという調査結果があるので、若者向け企画に活用願う。
- ・ 開催期間中にNHKで保有する反田氏の映像をNHK内で上映したり、NHK交響楽団による小学生向け授業を招致したりできないか可能性を局内で検討しているところ。

【委員】

- ・ 来場する方は“ムジークフェストなら”という全体的なものに来るのではなく、個別のアーティストや催し物の特徴を検索して来る印象であり、ムジークフェストを包括的全体的に紹介しても印象に残らないことが多いので、ひとつひとつのイベントにメリハリを付けて、関心をお持ちの方の目に留まるようなPRにしていくことが大事である。

【議長】

- ・ より多くの費用を投じてイベントを盛り上げるという考え方もあるが、いただいた意見を参考に工夫を凝らし、より費用対効果の高いイベントを目指すという路線で考えている。10年続けることで着実にリピーターが増えており、その方々の口コミなどが一番の広告であるとも感じる。

【委員】

- ・ ムジークフェストならの魅力である社寺公演について、県下一体で開催しているんだという観点と、その魅力を伝えるイメージ広告が必要と考える。

【委員】

- ・ 「若者向けにはデジタル」、「年配向けには紙媒体」というように、年齢層に合わせた広報を展開してほしい。事後の広報ではなく、事前告知に力を入れていただければ、もっと人が集まるのではないかな。

【委員】

- ・ 本日、見せていただいた広報用 VTR はかなりいいところで終わっており、もっと聞きたくなるような期待感があった。是非、ここにおられる委員様のお力添えで様々な場所で広報していただきたい。

【採決】

- ・ 委員から原案に対する異議は出ず、全員の賛成をもって承認された。

【議長(荒井知事)】

- ・ また気づいた点があればお伝えいただきたい。次回の実行委員会までに修正等の対応をさせていただきます。

以上